

SCHOOL PROGRAM REPORT 2015

平成27年度 高知県立美術館
スクール・プログラム報告書



高知県立美術館の《スクール・プログラム》

平成5(1993)年に開館した高知県立美術館は、美術館とはいろいろなアートに出会う場所という方針のもと、長年にわたって美術、演劇、音楽、映画など幅広いジャンルの多様なアートを積極的に紹介してきました。

その一方で、近年、美術館は人と作品だけでなく、人と人、人と地域社会をつなぐ場所であり、訪れた人が新しい価値観に触れ、自己を見つめ、世界との絆を深めるための場所、心の豊かさを支える新たなコミュニティという認識も深まっています。

そうしたなか、美術館にとって、地域と密接な学校との連携は欠かせないだけでなく、その重要性はますます高まってきているといえます。

高知県立美術館はこれまでも、学校団体を館内に受け入れて行う美術体験・美術館体験プログラム、学校内で学芸員が授業する出前びじゅつ講座、プロの音楽家が学校内で演奏する出前クラシック教室などの連携事業を、毎年県下の希望校と共同開催してきましたが、本年度からはそうした個別の活動を《スクール・プログラム》という名称のもとに統括し、より丁寧で積極的、計画的な事業に発展させます。学校と美術館の間の物理的な距離を埋めるために、貸し切りバス代を支援する「ミュージアムバス・ツアー」のような一歩踏みこんだ新規事業にも取り組んでいきます。

特に対話形式の作品鑑賞を通じた美術体験プログラムにおいては、実作品を前にした感動体験を大事にし、子どもたちの「見る、考える、話す、聞く」ことの循環から、観察力や想像力、発想力、言語力、表現力の発達を促し、「生きる力」を育むことにつないでいきたいと考えています。

美術館を、すべての人に開かれた、何度でも行きたくなる特別な場所にするためには何が大切でしょうか。子どもたちにとって、その第一歩である初めての美術館訪問、「ファースト・ミュージアム」体験には、身近な大人の力が不可欠です。子どもたちが「生きる力」を学ぶ場所という理解のもと、美術館を能動的に活用する役割は地域の大人に共通しています。そういう意味では、学校と美術館は、同じ目的とつながりをすでにもっているといえるでしょう。

《スクール・プログラム》においては、美術館は、まず地域の実情や学校の抱える課題、授業方針を知ることから始めていきたいと思います。学校と美術館の新たな連携には、時間割の調整、学内や美術館内の協力体制、予算の確保などたくさんの条件整備がお互いに必要です。学校と美術館との相互理解のもとに、学校や学年、クラスごとに適切なプログラムを両方で協議し実現させるために、事前の綿密な打合わせは欠かせません。

年間4本の企画展開催時に、教員の方々を対象にした学芸員のギャラリートーク付きの無料鑑賞会、「ティーチャーズ・デイ」を新たに設けたのは、美術館や学芸員に少しでも親しみを感じてもらうことで、学校と美術館の心理的な距離を個人のレベルから縮めたいという思いからです。

未来を担う子どもたちのために、いま大人たちは何をすればいいのか、顔をつきあわせて共に考える機会や場所を今後もつくっていききたいと思います。

高知県立美術館の《スクール・プログラム》は、再スタートを切ったばかりです。学校や地域の教育関係者の皆さんの継続的なご支援やご理解、ご協力のもと、ゆるやかに、しかし着実に成果があがっていくことを願って止みません。

川浪 千鶴（高知県立美術館 企画監兼学芸課長）

学校連携のこれまで

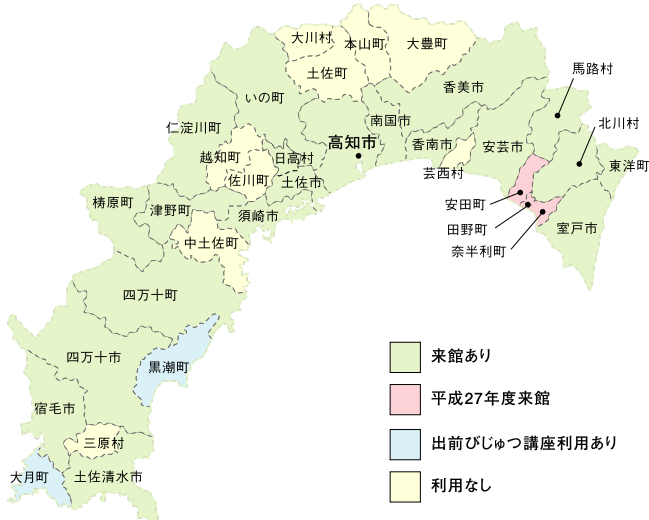
高知県立美術館では、児童・生徒が美術をはじめ、映画、音楽など、さまざまな芸術に関心をもち、親しみ、理解を深め、感性豊かな心を育むきっかけの場となることを願い、これまでも各種学校連携プログラムを行ってきた。特に高知県下は、学校から美術館までのアクセスが不便な地域が多いことから、美術館スタッフが学校へ出向いて行うアウトリーチ・プログラムを積極的に取り組んできた。

昨年度は一部プログラムを休止してこれまでのプログラムを振り返り、今年度は児童・生徒がアートに直接出会う来館の機会を増やすために、県内公立小・中学校に美術館利用についてのアンケート調査を実施した。

高知県内の公立小・中学校数（平成27年度）			
	小学校	中学校	合計
市町村（学校組合）立	196	103	299
県立		3	3
国立	1	1	2
	197	107	304

地図でみる利用状況

平成21年度から26年度まで、来館または出前びじゅつ講座の利用があった学校を地図に記してみた。平成26年度は、これまで比較利用が少なかった東部事務所管轄地区（奈半利町、北川村、田野町、馬路村、安田町）を重点地域に位置づけ、各教育委員会と面談しプログラムの案内を行った。



小・中学校の美術館利用実績（平成21～26年）						
	平成21年	22年	23年	24年	25年	26年
来館利用	31件（736人）	34件（970人）	36件（1069人）	47件（1473人）	55件（1722人）	27件（1155人）
来館利用（私学）	10件（204人）	10件（295人）	15件（379人）	27件（816人）	38件（1057人）	15件（311人）
来館利用（高知市立）	8件（309人）	13件（409人）	8件（231人）	7件（334人）	11件（522人）	5件（399人）
出前びじゅつ講座	25件（1,267人）	14件（1,261人）	20件（720人）	12件（708人）	3件（92人）	4件（93人）
出前びじゅつ講座（高知市立）	8件（544人）	7件（581人）	7件（305人）	3件（190人）	0	0

アンケート調査の実施

市町村教育委員会を通じて

① 美術館利用について ②「ミュージアムバス・ツアー」について ③ 図工・美術の授業について、

公立小・中学校304校へアンケート調査（締切6月15日）を行った。その結果、図画工作・美術の専任教員の有無に地域差があること、

来館が難しい主な理由には予算とともに授業時間の不足があげられることなど、部分的ではあるが学校の状況を把握することができた。

地域別アンケート結果

市町村	学校数	回答校 （内中学）	回答率	来館に興味あり（件数）		ミュージアムバスの利用希望 （件数）	出前びじゅつ講座に興味あり（件数）		美術の専任教員がいる （件数）
				来館したい	ハードルあり		希望	ハードルあり	
室戸市	13	7（4）	54%	2	5	5	3	4	1
安芸市	11	3（1）	27%	1	2	3	2	1	1
東洋町	4	1（0）	25%	1	0	1	1	0	0
奈半利	3	3（1）	100%	2	1	2	2	1	0
北川村	2	1（1）	50%	0	1	無回答	0	0	1
田野町	2	0	0%						
馬路村	4	2（1）	50%	2	0	2	2	0	1
安田町	2	1（0）	50%	1	0	1	1	0	1
芸西村	2	0	0%						
香南市	12	6（1）	50%	4	1	6	5		1
香美市	10	4（1）	40%	3	1	3	2	2	0
東部合計	65	28	43%	16	11	23	18	8	6
高知市	60	27（12）	44%	9	13	19	9	10	10
南国市	17	9（4）	50%	2	7	6	3	5	4
大豊町	2	2（1）	100%	0	2	1	1	1	1
本山町	3	2（1）	67%	2		2	1	1	1
土佐町	2	1（1）	50%	0	1	1	1	0	0
大川村	2	1（1）	50%	1		1	0	1	1
いの町	12	8（3）	67%	4	5	6	4	3	2
仁淀川町	5	2（1）	40%	1	1	1	0	1	1
土佐市	12	3（1）	25%	1	2	2	2	0	1
須崎市	13	6（3）	46%	4	1	3	3	1	1
日高村	3	2（1）	67%	2		2	0	2	0
佐川町	7	6（2）	86%	3	2	6	3	2	1
越知町	2	1（1）	50%	0	1	1	0	1	1
津野町	5	2（2）	40%	1	1	2	1	1	2
梶原町	2	1（0）	50%	0	0	0	0	1	0
中土佐町	6	3（2）	50%	1	2	3	2	0	1
四万十町	17	7（1）	39%	1	5	4	2	2	1
日佐川	2	1（0）	50%	0	1	0	0	1	0
中部合計	172	84	48%	32	44	60	32	33	28
四万十市	25	9（6）	36%	1	8	6	4	5	2
土佐清水市	9	4（0）	44%	0	4	0	2	2	0
宿毛市	14	8（4）	57%	1	6	2	6	2	0
黒潮町	10	3（0）	30%	0	3	1	2	1	0
三原村	2	1（0）	50%	0	1	1	0	1	1
大月町	2	1（0）	50%	0	1	0	0	1	0
西部合計	62	26	42%	2	23	10	14	12	3

スクール・プログラム（1）

来館（学校→美術館）事業

1 ミュージアムバス・ツアー

今年度は、県内の全公立小・中学校を対象に利用校の募集を行う前のトライアルとして、美術館まで徒歩圏内にある大規模校、比較的小さい地域の学校、事前授業として出前びじゅつ講座を実施した学校にご協力いただいた。

4月17日
高知市立介良中学校
（1年生101人）

●目的

新入生の仲間づくりを兼ねた校外学習「フレンドシップ・デイ」の一環として、午前中は美術館で作品鑑賞、午後は県立牧野植物園での昼食後、フィールドワークを体験。

●スケジュール

- 9:00 来館、美術館ホールへ案内。挨拶、本日のスケジュール・注意事項の確認。
- 9:30 4グループに分かれて展示室へ。「シャガール展」「石元泰博展」「ゴー・ビトゥイーンズ展①」「ゴー・ビトゥイーンズ展③」の4室を鑑賞。先生作成のワークシートに記入しながら鑑賞。
- 10:30 美術館ホールに集合。休憩後、自由鑑賞。
- 11:00 挨拶。
- 11:15 解散、美術館を出発。

●先生の感想

距離的には近い地域でも、生徒は美術館に足を運ぶ経験は少なく、貴重な体験となった。後日、美術部員や美術に興味を持つ生徒が、保護者と来館してきたと報告してくれ、生涯教育の観点でも意義深い取組であることを実感した。事業後、班ごとにシャガール作品についてのプレゼンを行ったり、美術の授業では「君もシャガール」と銘打って版画制作を行うなど、情操教育と仲間づくりの両面で期待以上の成果を上げることができた。

●生徒の感想（抜粋）

- ・活動を通してたくさんの友達ができてうれしかった。
- ・持って帰りたいくらいステキな作品があり、描いた人の想いがたくさん伝わってきた。
- ・意外に楽しくできてよかった。
- ・前に美術館に行った時は、作品の中身をあまり見ずに次の作品へ行っていたけど、今回は中身をきちんと考えて見られたのが良かった。
- ・不思議な作品や面白い作品、謎の多い作品があって、とても興味を持った。今日の活動をこれから活かしたい。
- ・あまり絵を描くことは得意ではないけれど、人が描いた絵を見ることは好きだと改めて思った。

11月9日
南国市立鷺ヶ池中学校
（3年生45人）

●目的

美術は難しい、敷居が高いということを払拭することを目指し、1学期は出前びじゅつ講座で美術館やコレクション、学芸員の仕事についてを紹介し、2学期は美術館で作品鑑賞を体験。

●スケジュール

- 13:45 来館、美術館ホールへ案内。挨拶、本日のスケジュール・注意事項の確認。
- 14:00 4グループに分かれて展示室へ。「シャガール展」「篠山紀信展」「石元泰博展」「山本昇雲展」の各展示室で学芸員が待機し、グループ毎に簡単な作品解説を行った後、自由鑑賞。
- 14:50 美術館ホールに集合。ホールの説明。
- 15:00 解散、美術館を出発。

●先生の感想

生徒たちは、美術館についてのお話を興味深く伺うことができた。バスをチャーターしていただき、美術館へ行くことができた経験も来館の機会が少ない生徒たちは喜んでいて。

10月9日
奈半利町立奈半利小学校 奈半利町立加領郷小学校
（5年生18人） （5年生1人）

●目的

来館経験が少ない児童が多いため、美術館に親しむことを目的に、バックヤード・ツアーと館内に点在する常設作品を鑑賞。

●スケジュール

- 10:30 来館、創作室へ案内。トイレ休憩後、挨拶。
本日のスケジュールと注意事項の確認。
- 11:00 2グループに分かれて、館内作品の鑑賞、「石元泰博展」「シャガール展」での鑑賞、搬入口・防災センター・運搬用エレベーター・防災センター・機械室などを巡るバックヤード・ツアーを行う。
- 12:00 創作室に集合、解散。
- 13:00 昼食後、美術館を出発。

●先生の感想

奈半利から高知までの移動に時間がかかってしまい、プログラムの時間が十分に取れず残念だった。もっとゆっくりお話を聞けたら良かった。



スケジュール等の確認



グループごとに展示室へ



ワークシートに記入中



グループごとにミュージアム・マップを利用して鑑賞



12月4日
田野町立田野小学校
(6年生16人)

●目的

美術館に親しむため、コレクションを中心に鑑賞。

●スケジュール

14:00 来館、講義室へ案内。トイレ休憩後、挨拶。本日のスケジュールと注意事項の確認。

14:20 2グループに分かれて、「シャガール展」「石元泰博展」「山本昇雲展」の鑑賞と、事務室や館長室、ホールの映写室など、バックヤード・ツアーを体験。

15:20 講義室に集合。解散。

15:30 美術館を出発。

●先生の感想

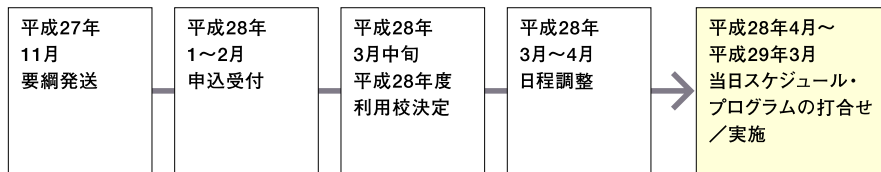
もう少し鑑賞の説明があった方が良い。技法の説明や作家の紹介などがあったら、もっと興味をもって見学できるといった。

●成果・課題

重点地域の学校から早速来館があったことは嬉しく、利用の少ない地域へは積極的にアプローチを行っていきたい。また、近隣の学校からはチャーターバスを利用することで、時間的、体力的な余裕ができ、児童たちがプログラムに集中することができたとの報告を頂いた。予算や授業時間が厳しい学校の現状を考慮すると、自費で継続して来館することは難しいのかもしれない。プログラムを通じた出会いを今後どのようにつなげていくかは課題である。

平成28年度ミュージアムバス・ツアーのスケジュール

平成28年度の実施に向けて、アンケートの結果をもとに、「ミュージアムバス・ツアー」の募集を開始。



館内作品の鑑賞



2階回廊からホワイエをのぞく



館長室を訪問



搬入口のシャッターの先は…

2 学校団体利用

図画工作や美術の授業、社会科見学、校外学習など、各学校と連携して、来館目的や児童・生徒に合った鑑賞プログラムを実施した。また、事前予約により鑑賞前に10分程度の前説も行っている。

利用校／高知学芸中学校、土佐中学・高等学校、土佐塾高等学校、高知市立青柳中学校、高知小学校、高知高等学院、仁淀町立仁淀中学校、津野町立葉山中学校、明德義塾中学・高等学校、いの町立伊野南小学校、徳島県三好市立西祖谷中学校、高知市立鴨田小学校、高知市立潮江南小学校、高知市立旭東小学校、高知県立高知若草養護学校、高知市立一宮中学校、高知市立一宮東小学校、いの町立伊野中学校、佐川町立尾川小学校、安田町立安田小学校、四万十町立影野小学校、馬路村立魚梁瀬小学校(計22校)

●成果・課題

今年度は、高知市内をはじめとする大規模校の団体利用が比較的多かった。そのことにより、集合場所や対応スタッフの不足を改めて痛感した。学校団体のために施設を増築することは難しいが、対応スタッフを増やすことでプログラムの充実を図りたい。そのためには、鑑賞ボランティアの導入・育成が課題である。

ミュージアム・マップ

中学生以上の団体利用を対象に、美術館利用や館内作品の説明を掲載したミュージアム・マップを作成。(A3ジャバラ折り)



高知学芸中学校



高知学芸中学校



鴨田小学校



仁淀中学校



青柳中学校



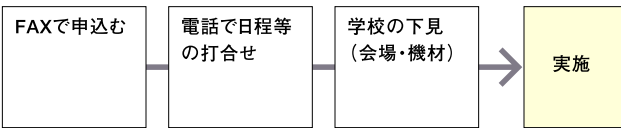
鴨田小学校

スクール・プログラム (2)

アウトリーチ (美術館→学校) 事業

1 出前びじゅつ講座

美術館スタッフが、先生方からの要望をもとに、画像などを用いての美術鑑賞を中心に授業を行う。



●スケジュール

あいさつ・自己紹介 (5分程度) → 美術館の説明 (10分程度)
→ 目的に応じたメニュー

① 来館前の事前学習

- 館内作品やマルク・シャガール、石元泰博など作品画像を用いてコレクションについて解説
- 来館時開催予定の企画展の解説など
- ◎利用校: 高知市立一宮中学校1年
徳島県三好市立西祖谷中学校全学年
(※県境域学校連携に関する調査)

② キャリア教育

- 学芸員の仕事を紹介
- ◎利用校: 土佐女子高等学校3年

③ 図画工作・美術の授業

- 当館コレクションや国内外の作品画像を使用して解説や鑑賞
- ◎利用校: 南国市立長岡小学校3年、南国市立鷹が池中学校1～3年、高知県立高知若草養護学校中等部3年

事業例／南国市立鷹が池中学校1・2年

1学期は画像を使用して美術館やコレクションの解説や作品鑑賞。
2学期は高知ゆかりで在住の作家・岡上淑子さんのフォト・コラージュ作品を取り上げ、ポスターやチラシを利用したコラージュ作品をグループ毎に制作。

●成果・課題

これまでは、画像を用いて行う講座が主体であったが、音楽やゲームなどのアクティビティを導入したり、アーティストに同行してもらうなど、プログラムにバリエーションを加えてみたい(特に学校から美術館への来館が難しい地域)。単発で終わるのではなく、将来の来館につながる「出前びじゅつ講座」を目指す。



グループごとで考えて作る



最後は発表

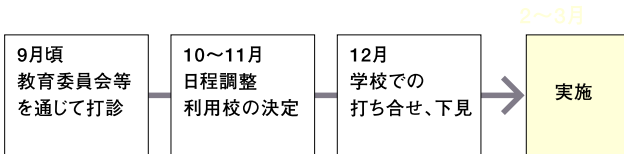
鑑賞の作品例



岡上淑子〈陽気なリズム〉1952年

2 出前クラシック教室

音楽家が、県内の小・中学校の教室など、児童・生徒にとって身近な場所で行う演奏会。



●事業内容

県内を中心に活躍する音楽家が本事業のために結成した「アンサンブル・バレット」(福田香苗／サクソフォーン、中山園／トランペット、川村陽華／ヴァイオリン、杉本成美／ピアノ、岡林綾／フルート)が、小・中学校の教室などで行う演奏会。
アニメーション「となりのトトロ」を中心に、楽器の仕組みや曲紹介、児童・生徒による朗読を交えて、音楽を通じたコミュニケーションを楽しみながら行った。

利用校／いの町立吾北小学校4、5年、いの町立吾北小学校6年、北川村立北川小学校1～3年、北川町立北川小学校4～6年、安田町立安田小学校1～3年、安田町立安田小学校4～6年、東洋町立野根小学校全学年、東洋町立野根中学校全学年、いの町立神谷小学校全学年、いの町立神谷中学校全学年

●児童・生徒の感想(抜粋)

- 朗読と演奏だけで頭の中で映画を見ているような感覚だった。
- 楽器紹介の時に、みなさんが楽器をかるやかに操っていてすごいなと思った。音楽は実際に聞いた方がとても迫力があり、全然違った。
- 私はあまりクラシックに興味がなかったけど、クラシックっていいなと思った。
- テレビなどで聞く音楽はあまり心に残らないけれど、生で演奏してもらうとすごく心に残った。
- 聴いていておだやかな気持ちになった。
- 演奏してもらった曲は、リズムをとってしまいそうなくらい音色がきれいだった。
- 1つの楽器でいろんな音もだして、すごいと思った。心の奥までしみこむような演奏だった。
- 生で楽器の音を聞くとそれぞれ音が違って、組み合わせることによってすばらしい演奏になると実感した。

●成果・課題

前年度までの4人から演奏者が5人体制となり、音に厚み・迫力がでて、児童・生徒はもちろん、先生たちも想像以上に感激してくれた。アンサンブル・バレットとしては、5年目となり、その場に合わせた内容を変えたり、学校の都合で時間短縮を迫られる場面でも、臨機応変に対応でき、授業内容の充実はかなりのレベルまできている。今後の課題は、この事業の本来の目的である、学校という身近な場所で音楽に親しみ、最後はホールという場所で音楽を聴いてもらい、より音楽に興味を持ってもらうことを達成するために出前クラシック教室の最後にホールでコンサートを開催する可能性を探ること。また、演奏者数が増え、内容は充実したが、その反面、5人が揃って学校へ行くスケジュール調整が難しくなるという課題もでてきた。少人数での編成パターンなど、より柔軟な対応が求められる。さらにこれまで利用のない地域での実施も課題である。



自己紹介と楽器の説明(北川小)



みんなも朗読で参加(安田小)



最後はホルスト作「惑星:ジュピター」(野根中)

スクール・プログラム (3)

石元泰博コレクションの活用

プログラム実施の背景

コレクションの活用と郷土作家の理解を目指して

高知県立美術館では、郷土を代表する写真家・石元泰博氏とそ
のご遺族より寄贈を受けた石元泰博コレクションを、マルク・シャガ
ールと並ぶ二大コレクションと位置付けている。この活用と郷土作家
の普及のため、「石元泰博フォトセンター」では、作家が3歳から18
歳までを過ごしたゆかりの地・土佐市を重点地域と定め、地域と協
同したプログラムを展開することとなった。平成26年度はそのパイ
ロット事業として、石元氏の母校である土佐市高岡第二小学校をパ
ートナーとし、全児童に対して事前授業と来館を組み合わせたプロ
グラムを実施した。本年度からは、対象を土佐市内の小学校3年生
へと拡大し、母校含め計4校へのプログラム実施となった。今後、平
成29年度まで本事業を継続させ、市内全小学校を対象に行う予定
である。

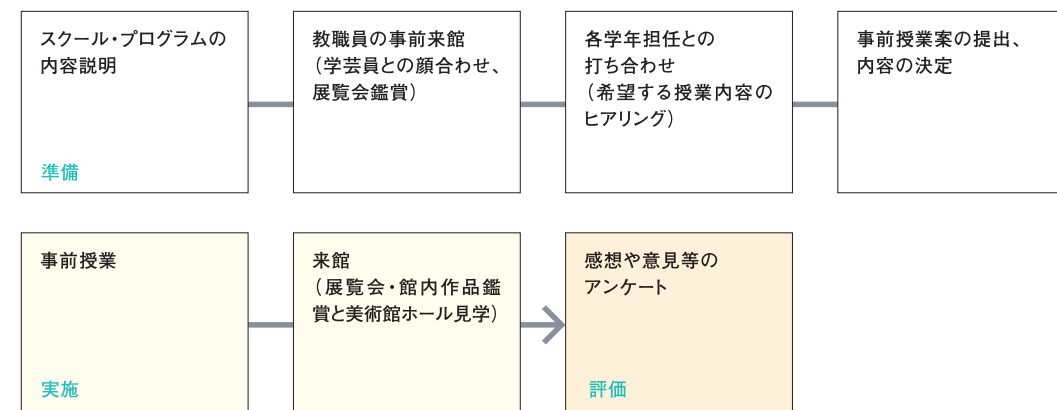
●高知県立美術館と石元泰博コレクション
当館で開催した「石元泰博写真展 1946—2001」展（2001年）を機縁に、高知県は石元氏の生前から逝去した後にかけて、ご本人とご遺族から段階的に作品等の寄贈を受けた。そのコレクションの概要は、プリント34,753枚、ネガフィルム約100,000枚、ポジフィルム約50,000枚、さらに書籍・写真集、カメラ機材や、交流のあった他作家作品等を含み、公立美術館の有する個人コレクションとしては類を見ない質と量を誇る。また、高知県は石元氏より写真作品及び写真フィルムの著作権譲渡も受けている。

●石元泰博フォトセンターについて

石元泰博コレクションを、適切な環境で保存・管理し、継続的な調査・研究を行い、国内外多くの人々が利用できるアーカイブとして、その価値を一層高めるため、2013年に高知県立美術館内に開設。コレクションを管理し研究する「深める」活動、展覧会開催やデータベースサービスなどを通じて「広める」活動と並び、石元氏の人間性や芸術に親しんでもうための「つなぐ」活動として、本スクール・プログラムの実施等、コレクションの活用と普及に努めている。



実施までの流れ



事前授業

石元氏の母校・高岡第二小学校の児童は、前年度に既に来館経験がある。その他の3校には初めての実施であり、美術館来館の経験がない児童も多かったため、それぞれ配慮した内容となった。

●内容

11月19日[木]

第3・4校時(90分間) 高岡第二小学校(12名)

「写真作品をとおして学ぶー写真って、カメラってなんだろう?①」
講師:中島健蔵(写真家)

昨年度学んだ内容(高知県立美術館や石元氏について)を思い出しつつ、まずは座学として、カメラ・オブスキュラを例にカメラの構造を学んだ。次に、特製の段ボール製カメラ・オブスキュラを覗き、モノが写る仕組みを体感したり、講師が持参した大判・小型カメラを覗き、撮影に利用された同等のカメラに触れることで、石元氏の撮影ポイントを学んだ。



初めて覗くカメラ・オブスキュラ

11月24日[火]

第2校時(45分間) 高石小学校3年(16名※うち特別支援4名)

1月26日[火]

第3校時(45分間) 新居小学校3、4年複式学級(9名)

1月27日〔水〕

第3校時(45分間) 宇佐小学校3年(20名)

「美術館ってどんなところ?すてきポイントを見つけよう!①」

美術館がどんな場所なのか、学芸員の仕事、美術館での鑑賞マナー、石元氏について説明した後、展示中の石元作品を数点取り上げ、鑑賞時のポイントをつかんだ。

鑑賞の作品例



石元泰博《シカゴ 街》1959-61年 ©高知県, 石元泰博フォトセンター

石元泰博(1921-2012)について
アメリカ・サンフランシスコ生まれ。3歳のとき両親の故郷・高知県高岡町(現・土佐市)へ戻る。1928年春・鵜川尋常小学校(現・高岡第二小学校)入学。高知県立高知農業学校(現・高知県立高知農業高等学校)を卒業した1939年、単身渡米するが、間もなく第二次世界大戦がはじまり、収容所生活を余儀なくされる。終戦後、シカゴのインスティテュート・オブ・デザイン(通称、ニュー・バウハウス)にて写真技法のみならず、石元作品の根幹を成す造形感覚の訓練を積む。その後、桂離宮に内在するモダニズムを写真により見出した作品で高い評価を受ける。文化功労者。高知県文化賞受賞。



石元泰博《セルフ・ポートレート》1975年
©高知県, 石元泰博フォトセンター

来館時プログラム

高岡第二小学校と高石小学校、新居小学校と宇佐小学校が合同で来館し、館内を巡る際は各学校ごと2グループに分かれ、学芸員引率のもと活動を行った。

11月26日
高岡第二小学校
(3年12人)

●目的

「写真作品をととして学ぶー写真って、カメラってなんだろう?②」と題し、石元泰博展「ビーチ」と「篠山紀信展」を鑑賞。石元氏や篠山氏の撮影の様子をイメージしながら、モノクロ写真、カラー写真、オリジナルプリントや大判プリント等、作品の多様性を学ぶ。

11月26日
高石小学校
(3年16人)

●目的

「美術館ってどんなところ?すてきポイントを見つけよう!②」と題し、石元泰博展「ビーチ」を鑑賞。事前授業で鑑賞した作品を改めて鑑賞し、以外の作品から発見を共有する。展示室に訪れ、館内作品を巡って美術館を立体的に理解しながら、自分のお気に入りのスポットを見つける。

●スケジュール

- 9:35 来館、講義室への移動、挨拶、スタッフ自己紹介、来館時マナーの確認
- 9:50 高岡第二小、高石小の2グループに分かれ、篠山展、石元展、館内作品を鑑賞
- 10:30 講義室へ再集合、美術館ホールに移動
- 10:40 美術館ホール見学(ステージに上がる、吊りモノを見るなど)
- 10:55 終了、帰りの身支度、移動
- 11:05 美術館発

●先生の感想

各グループに1名の引率がいて、詳しい説明を聞きながら鑑賞できてよかった。児童は、多くの発見があり大変楽しんでいた。



石元泰博展示室にて、はじめて石元さん



授業でみた作品はどれかな



実際にみると印象がちがうね

1月29日
新居小学校
(3・4年複式学級9人)

宇佐小学校
(3年20人)

●目的

「美術館ってどんなところ?すてきポイントを見つけよう!②」石元泰博展「ポートレート」を鑑賞。事前授業での内容を踏まえつつ、気付きや意見、発見を共有する。展示室に訪れ、館内作品を巡って美術館を立体的に理解しながら、自分のお気に入りのスポットを見つける。

- 9:30 来館、創作室ロビーへの移動、挨拶、スタッフ自己紹介、来館時マナーの確認
- 9:45 宇佐小は2グループ、新居小は1グループになり、「石元泰博展」「マリメッコ展」、館内作品を鑑賞
- 10:25 美術館ホール見学(ステージに上がる、吊りモノを見るなど)
- 10:50 終了、帰りの身支度、移動
- 11:00 館発

●先生の感想

事前授業をしたことで、児童にとって来館時の活動がいっそう楽しいものになった。勉強してから実物を見られたことで、喜びが大きかったようだ。

●成果・課題

昨年度は石元氏の母校である高岡第二小学校の全学年に対して行った本プログラムは、今年度、土佐市教育委員会の協力のもと、土佐市内小学校4校に対象を広げて行うこととなった。全学年を対象にした昨年度とは違い、今年度は、自分の意見や気付きを言語化できる最年少の学年として対象を3年生に絞った。各学校の作家理解や来館経験にあわせたプログラムが実施できた一方、やりっぱなしにせず、その後可能な限りのケアをどう行うかを模索中である。また、来年度以降のプログラムも同じ内容の繰り返しでなく、学校ごとに即した内容へと改良することが必要と考える。



活動の最初に来館時のマナーを再確認



事前授業で鑑賞した作品を発見



石元氏の使用していたカメラ、家具類なども鑑賞



館長からもひとこと。「また美術館に遊びに来てくださいね」



児童は学校発、美術館着のチャーターバスを利用

スクール・プログラム（4）

ティーチャーズ・デイ

市町村の教育センターや、教育研究会などが主催する教職員対象の研修会を美術館で行った。スクール・プログラムの説明や、学校団体利用で行っている館内およびバックヤード・ツアーを体験していただいた。

また、今年度より当館主催の企画展会期中、小・中学校、高等学校、特別支援学校などに勤務する教職員を無料で招待する「ティーチャーズ・デイ」を始めた。

●参加者数

展示会名	利用人数
ゴー・ビトゥイーンズ展 こどもを通して見る世界	5人
館蔵名品展：20世紀末の美術／版画作品を中心に	2人
没後20年 具体の画家―正延正俊	1人
篠山紀信展 写真力	2人
マリメッコ展―デザイン、ファブリック、ライフスタイル	8人

●感想

- 次回も、先生方へ呼びかけて参加したい。
- 解説を聞くとことで、鑑賞のポイントが分かり、2倍以上楽しむことができた。
- 解説の時間がもう少し長くても良かったかなと思った。展示の流れや意図がよくわかった。
- 展示の意図を教えてください、違う見方ができ、より深く鑑賞することができたと思う。
- 個人的な興味で参加しているが、児童が学校の教育活動で来館できるよう考えていきたいと思う。

●成果・課題

美術館を先生方に活用していただくことを目的に、試行錯誤で始めた「ティーチャーズ・デイ」。参加者数は少ないが、定期的に継続していくことが重要。複数回参加のリピーターの存在は心強い。周知方法や内容の充実が今後の課題。



Go-Between's (The world seen through children's eyes) ゴー・ビトゥイーンズ 展 こどもを通して見る世界 2015.4.5(日)～6.7(日)



平成27年度スクール・プログラム事業実績

来館利用				
実施日	学校・学年	来館者（内訳） 児童・生徒数	引率 （教員）	利用数
4月17日	高知市立介良中学校1年	103	10	113
4月29日	土佐中学校・土佐高等学校	6	1	7
4月30日	高知学芸中学校2年	255	10	265
4月30日	土佐塾高等学校1年B、C組	83	3	86
4月30日	土佐塾高等学校1年D、E組	84	3	87
5月8日	土佐塾高等学校1年A、G組	67	3	70
5月13日	高知市立青柳中学校1年	94	6	100
5月15日	高知小学校3年A組	27	2	29
5月15日	高知小学校3年B組	26	2	28
5月19日	高知小学校6年B組	25	2	27
5月19日	高知小学校6年A組	30	2	32
5月27日	高知小学校4年A組	24	2	26
5月27日	高知小学校4年B組	24	2	26
6月4日	高知小学校5年B組	27	2	29
6月4日	高知小学校5年A組	27	2	29
6月19日	高知高等学院	49	3	52
7月10日	仁淀川町立仁淀中学校1年	18	4	22
9月10日	高知市教育研究所	12	16	28
10月8日	津野町立葉山中学校全学年	19	3	22
10月9日	奈半利町立奈半利・加領郷小5年	19	2	21
11月9日	南国市鳶が池中学校3年	46	2	48
11月13日	高知高等学院	50	4	54
11月13日	いの町立伊野南小学校5年	30	3	33
11月20日	徳島県三好市立西祖谷中学校全学年	12	8	20
11月22日	明徳義塾中学・高等学校美術部	11	1	12
11月24日	高知市立鴨田小学校3年	130	6	136
11月26日	土佐市立高石小学校3年	16	3	19
11月26日	土佐市立高岡第二小学校3年	12	4	16
12月4日	田野町立田野小学校6年	16	2	18
12月20日	土佐塾中学・高等学校美術部	21	1	22
1月21日	仁淀川町立仁淀中学校2年	19	3	22
1月29日	土佐市立宇佐小学校3年	19	2	21
1月29日	土佐市立新居小学校3、4年	9	2	11
2月12日	高知市立潮江南小学校特別支援学級	8	1	9
2月17日	高知市立旭東小学校2年	74	5	79
2月17日	高知県立高知若草養護学校中学部	8	8	16
2月19日	高知市立一宮中学校1年	147	10	157
2月19日	高知市立一宮東小学校ふれあい	8	2	10
2月22日	いの町立伊野南中学校2年さくら学級	1	1	2
2月24日	高知小学校4年B組	21	3	24
2月24日	高知小学校4年A組	24	3	27
2月24日	明徳義塾高校日本語コース6年	10	1	11
2月25日	高知小学校5年B組	26	3	29
2月25日	高知小学校5年A組	25	3	28
2月26日	高知小学校3年B組	27	3	30
2月26日	高知小学校3年A組	28	3	31
3月1日	高知小学校6年A組	27	3	30
3月1日	高知小学校6年B組	24	3	27
3月1日	佐川町立尾川小学校5、6年	13	2	15
3月3日	安田町立安田小学校3、4年	19	2	21
3月4日	四万十町立影野小学校全学年	34	8	42
3月4日	馬路村立魚梁瀬小学校全学年	10	6	16
3月17日	高知市立介良中学校特別支援学級1、2年	4	2	6
合計		1,948	193	2,141

教職員の研修		
実施日	学校名	利用数
6月4日	安芸市小・中学校教育研究会	4
8月5日	高知市教育研究会	60
8月24日	南国市造形教育研究会	19
1月20日	土佐市教育委員会	12
合計		95

保育園の利用

実施日	保育園名	利用数
12～3月	土佐市幼保支援課	合計 153

出前びじゅつ講座

実施日	学校名	利用数
6月9日	南国市立長岡小学校3年	41
6月23日	南国市立鳶ヶ池中学校1～3年	154
9月15日	土佐女子高等学校3年	31
10月27日	南国市立鳶ヶ池中学校1、2年	108
11月11日	徳島県三好市立西祖谷中学校全学年※	12
11月19日	土佐市立高岡第2小学校3年	12
11月24日	土佐市立高石小学校3年	16
1月26日	土佐市立新居小学校3、4年	9
1月27日	土佐市立宇佐小学校3年	19
2月15日	高知市一宮中学校1年	160
2月24日	高知市立若草養護学校中等部3年	3
合計		565

※県境域学校連携に関する調査

出前クラシック教室

実施日	学校名	参加数
2月1日	いの町吾北小学校4、5年	24
2月1日	いの町吾北小学校6年	20
2月18日	北川村立北川小学校1～3年	31
2月18日	北川村立北川小学校4～6年	29
2月22日	安田町立安田小学校1～3年	37
2月22日	安田町立安田小学校4～6年	32
2月24日	東洋町立野根小学校全校	28
2月24日	東洋町立野根中学校全校	13
2月29日	いの町立神谷小学校全校	24
2月29日	いの町立神谷中学校全校	14
合計		252

- ☐ ミュージアムバス・ツアー
- ☐ 石元泰博コレクション活用

平成27年度 高知県立美術館 スクール・プログラム報告書

編 集 ：高知県立美術館 学芸課 長山美緒、太田恵美子
デザイン：有限会社ナノ・クリエイティブ
発 行 ：高知県立美術館 〒781-8123 高知市高須353-2
印 刷 ：川北印刷株式会社

発行日 ：平成28（2016）年3月31日